

# お知らせ 平成26年度の環境放射線等広域調査(PAモニタリング)結果について

平成26年度調査結果は、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響が一部の試料において認められたものの、放射性物質の濃度は減少し、事故前のレベルと同程度でした。

当社は毎年、青森県内各地域における環境中の放射線と放射能を調べる「環境放射線等広域調査(PAモニタリング)」(調査分析:公益財団法人 日本分析センター)を行っています。このPAモニタリングでは、青森県全域にわたる9市町(弘前市・八戸市・五所川原市・十和田市・むつ市・つがる市・外ヶ浜町・深浦町・田子町)を対象に、環境放射線や、そこで育った農畜水産物や海水に含まれている放射性物質の濃度を分析・測定し、お知らせすることにより、県内の皆さまに原子燃料サイクル施設の安全性や自然界には常に放射線が存在することなどについて、ご理解いただくことを目的としています。

このたび、学識経験者および各自自治体関係者で構成される「第28回PAモニタリング委員会」(7月8日開催)で審議・評価された平成26年度の調査結果をお知らせします。

## 〈調査方法〉

①環境放射線の測定: 各地域の放射線は、四半期ごとに積算線量を計測しています。9市町における計測結果は、下図のとおりです。

②環境放射能の分析: 身のまわりにあるさまざまな放射性物質は、飲食等によって人体に取り込まれることから、コメ、魚、野菜など17種類の農畜水産物や海水(試料)を採取して、それらに含まれる放射性物質を分析しています。試料から検出された放射性物質の濃度は、右表のとおりです。

## ◆調査結果について

平成26年度の調査では、平成23年3月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響が一部の試料において認められたものの、放射性物質の濃度は減少し、事故前のレベル(当社ホームページ内の「PAモニタリング」にて公開しております)と同程度でした。

なお、国が定めた食品中の放射性物質の基準値と比較しても極めて低い値となっています。

国が定めた食品中の放射性セシウムの基準値\*

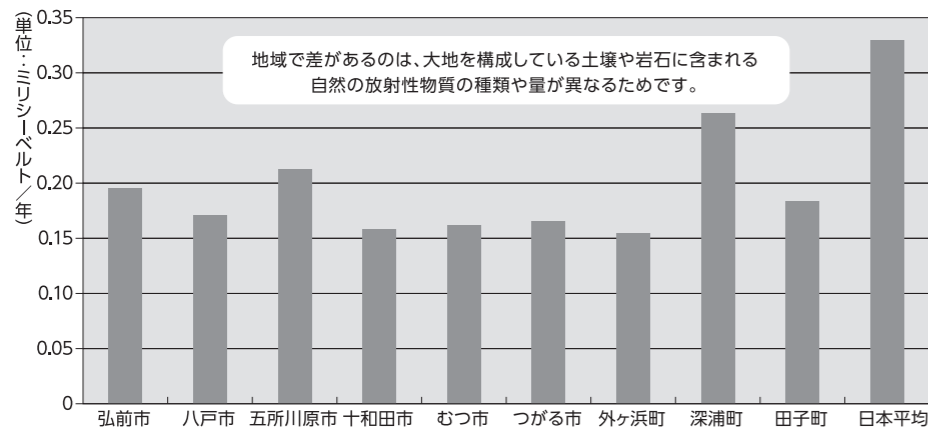
(単位:ベクレル/kg)

食品群	基準値
一般食品	100
乳児用食品	50
牛乳	50
飲料水	10

\*放射性ストロンチウム、プルトニウムなどを含めて基準値を設定

▷「ベクレル」は放射性物質が放射線を出す能力を表す単位です。ミリベクレルはベクレルの1000分の1を表します。

図:環境放射線の測定結果



▷「シーベルト」は放射線の身体への影響を数値に表した単位です。ミリシーベルトはシーベルトの1000分の1を表します。

表:農畜水産物・海水に含まれる放射性物質の濃度

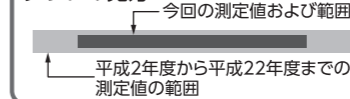
試料の種類	採取地域	主な測定核種 <sup>1)</sup>	調査結果		福島第一原子力発電所 事故前までの測定値 <sup>2)</sup> との比較							単位
			平成26年度	基準値に対するセシウムの最大値の割合	0.0001	0.001	0.01	0.1	1	10	100	
牛乳	田子町	セシウム	0.077~0.23	約1/200	[Bar chart]							ベクレル/L
		カリウム40	45	-	[Bar chart]							
		ウラン	*~0.00061	-	[Bar chart]							
精米	弘前市	カリウム40	35	-	[Bar chart]							ベクレル/kg
		カリウム40	26	-	[Bar chart]							
	八戸市	ウラン	0.00088	-	[Bar chart]							
		カリウム40	27	-	[Bar chart]							
	五所川原市	セシウム	0.012	約1/8,300	[Bar chart]							
		カリウム40	27	-	[Bar chart]							
	十和田市	セシウム	0.020	約1/5,000	[Bar chart]							
		カリウム40	23	-	[Bar chart]							
	むつ市	カリウム40	33	-	[Bar chart]							
		セシウム	0.027	約1/3,700	[Bar chart]							
	つがる市	カリウム40	23	-	[Bar chart]							
		セシウム	0.072	約1/1,300	[Bar chart]							
外ヶ浜町	カリウム40	26	-	[Bar chart]								
	セシウム	0.024	約1/4,100	[Bar chart]								
深浦町	カリウム40	31	-	[Bar chart]								
	セシウム	0.012	約1/8,300	[Bar chart]								
田子町	カリウム40	33	-	[Bar chart]								
	セシウム	0.013	約1/7,600	[Bar chart]								
リンゴ	八戸市	カリウム40	31	-	[Bar chart]							ベクレル/kg
		セシウム	0.0094	約1/10,600	[Bar chart]							
		カリウム40	36	-	[Bar chart]							
五所川原市	カリウム40	78	-	[Bar chart]								
	カリウム40	0.011	-	[Bar chart]								
メロン	つがる市	ウラン	0.0021	-	[Bar chart]							
大根	深浦町	カリウム40	58	-	[Bar chart]							
長いも	十和田市	カリウム40	110	-	[Bar chart]							
ニンニク	田子町	カリウム40	150	-	[Bar chart]							
長ネギ	つがる市	カリウム40	47	-	[Bar chart]							ベクレル/kg
		ウラン	0.0021	-	[Bar chart]							
		セシウム	0.12	約1/800	[Bar chart]							
ヒラメ	八戸市	カリウム40	130	-	[Bar chart]							ベクレル/kg
		ウラン	0.0019	-	[Bar chart]							
		セシウム	0.13	約1/700	[Bar chart]							
	むつ市	カリウム40	140	-	[Bar chart]							
		ウラン	0.0027	-	[Bar chart]							
		ポロニウム210	1.5	-	[Bar chart]							
外ヶ浜町	セシウム	0.11	約1/900	[Bar chart]								
	カリウム40	120	-	[Bar chart]								
ウラン	0.0023	-	[Bar chart]									

## 食品に含まれる放射性物質

私たちが口にする食べ物にも、もともとカリウム40やポロニウム210等の自然の放射性物質が含まれています。カリウム40は様々な食品に含まれ、ポロニウム210は海産物において高濃度に含まれています。こうした自然の放射性物質を毎日の食事を通して摂取しているため、身体には常に、これらの放射性物質が存在します。

上の表では、県内の農畜水産物や海水に含まれている放射性物質の濃度を分析・測定し、お知らせしています。なお、検出限界値未満の測定結果については、掲載を省略しています。さらに詳細な情報は、当社ホームページでご紹介しております。

## グラフの見方



【\*】は検出限界値未満を示しています。本PAモニタリングにおける検出限界値は、測定器の性能を考慮し、計数誤差の3倍を上限に定めています。

- 1) ウランはウラン234、ウラン235、ウラン238の合計値、セシウムは、セシウム134、セシウム137の合計値
- 2) 平成22年度から平成22年度までの全地点における最小値~最大値(核種・試料毎)、代替試料を含む

詳しくはこちらから▶



当社ホームページでは、原子燃料サイクル施設周辺における放射線測定の実タイムデータなどの情報をお知らせしています。

日本原燃

検索

日本原燃株式会社 地域本部

TEL: 0175-71-2022  
FAX: 0175-71-2136

